指導者 小林 洋平 R4研修センター長期研修

1 単元名 少年の日の思い出 ~「マイテーマ読み解きスライド」を作成して交流しよう~

2 本単元の目標

- (1) 心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。
 - 〔知識及び技能〕(1)ウ
- (2)場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 [思考力、判断力、表現力等] C(1)イ
- (3) 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1) 工

(4) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

3 単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---------------|-----------------|---------------|
| ①心情を表す語句の量を増す | ①「読むこと」において、場面の | ①積極的に文章の構成や展 |
| とともに、語句の辞書的な | 展開や登場人物の相互関係、 | 開、表現の効果について、 |
| 意味と文脈上の意味との関 | 心情の変化などについて、描 | 根拠を明確にして考え、 |
| 係に注意して話や文章の中 | 写を基に捉えている。 | 友達との対話を生かしなが |
| で使うことを通して、語感 | (C(1)イ) | ら、スライドにまとめて交 |
| を磨き語彙を豊かにしてい | ②「読むこと」において、文章 | 流しようとしている。 |
| る。 ((1)ウ) | の構成や展開、表現の効果に | |
| | ついて、根拠を明確にして考 | |
| | えている。 (C(1)エ) | |

4 単元について

(1) 教材観

本教材は、現在と回想の二つの部分から構成されている。また、情景描写や伏線、表現技法が随所に散りばめられており、それらの効果で読み手を強くひきつける力をもっている。そのため、文章の構成や展開、表現の効果について考える上で、大変適した教材となっている。今回は、その構成や展開、表現の効果について、描写を根拠として考えを伝え合い、スライドにまとめて交流するという言語活動を設定した。これらの活動を通して、構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える力を育むことができると考える。

(2) 生徒観

本学級の生徒に対し、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える力に関する実態調査及び意識調査(令和4年9月5日実施、第1学年*組*人)を実施した。その結果、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を含めて正答できた者は*人、正答だが根拠の不十分な者が*人、誤答は*人であった。意識調査では、自分の考えの根拠を示すことについて*人の生徒が「難しい。」と回答し、理由として*人の生徒が「根拠として何を書けばよいのかが分からない。」と答えた。これらの実態から、文学的な文章における文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える力に課題がある現状が窺える。以上のことから、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える力を育てる学習指導を行う必要があると考えた。

(3) 指導観

本単元では、中学校第1学年「少年の日の思い出」の学習において、マイテーマ読み解きスライドを作成し、交流するという言語活動を位置付ける。まず、全文シートとストーリーマップを使い、文章の構成や展開、表現の効果について可視化し、作品の特徴を整理する。次に、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えるためのマイテーマを選択し、仮説検証型の探究活動を行う。さらに、ジグソー法の一部をアレンジした交流活動を取り入れて、多様な視点から考えを深める。そして、各自が読み深めたことを基にマイテーマ読み解きスライドを作成し、グループで発表し合う。これらの学習過程の工夫を通して、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える力を育てることができると考え、本主題を設定した。

単元の指導計画 (9時間扱い) ○は指導に生かす評価場面、◎は記録に残す評価場面 学習内容・活動 評価方法・留意点等 知思能 次一時 ・本単元全体の見通しをもつ。 単元計画表を基に、本単元全体の見 通しをもてるようにする。 課題 最も印象に残った場 マイテーマ読み解きスライドのグッ 面、表現はどこだろう。 ドモデルを示し、学習活動のイメー 具体的な場面や表現を ジをもてるようにする。 挙げながら感想を書こ ・文学的な文章読み取りガイドを活用 う。 することで、文章を読む上で着目す べきポイントを確かめることができ るようにする。 ・作者について知る。 ・本文を読んで、初発の感想を \bigcirc 熊①: 感想を書けていない生徒には、 印象に残った場面や表現を確認 書く。 するとともに、文学的な文章読 み取りガイドを基に、既習事項 まとめ (例) を活用するよう促す。 〈表現〉 【観察、ワークシート】 「あいつの喉笛~だった」 ・初発の感想から、マイテーマを決め という表現が印象に残った。 ることを伝え、単元の学習への意欲 「あいつ」や「喉笛に飛びかかる」という表現から、僕の を高めるようにする。 怒りが伝わってきた。 ・全文シートを用いて、本文全体を俯 2 2 課題 この作品には、どのよ 瞰できるようにすることで、構成や うな表現上の特徴がある 展開、伏線の繋がりを理解できるよ だろう。 うにする。 ○全文シートへの書き込み ・全文シートへの書き込みは、①言動 ②情景描写、表現技法③構成、展開 〈個人〉 【構成、展開について】 を区別できるよう、線の種類を分け ・時間の変化 て書くように指示する。 知①:情景描写や表現技法につまずい →太線で囲む。 \bigcirc 伏線→「…」線 ている生徒には、文学的な文章 読み取りガイドを示して理解を 【表現について】 促すとともに、分からない言葉 ・登場人物の言動→「─」線 は調べることで、語彙を増やせ るよう個別に支援する。 情景描写 「~」線 【全文シート】 表現技法 ・全体で確認する際は、明るい表現は 〈全体〉 赤線、暗い表現は青線で線を引き、 ・明るい表現 赤線 ・暗い表現 青線 表された心情を視覚的に捉えやすく ストーリーマップに、人物像、スト ○ストーリーマップの作成 3 【構成、展開について】 ーリー、情景描写などを集約するこ ・時間の変化 とで、読み取った内容を分かりやす ・語り手の変化 く整理するとともに、可視化して関 伏線 連性を捉えられるようにする。 【表現について】 \bigcirc 思①:着目すべき描写が分からない生 徒には、文学的な文章読み取り • 人物像 ·情景描写(表現技法) ガイドを示し、具体的な描写を 見付けられるよう支援する。 【ストーリーマップ】 まとめ (例) \bigcirc 知①:心情を表す語句の量を増すとと ・「現在」が情景描写や言動か もに、語句の辞書的な意味と文 ら暗く描かれている。 脈上の意味との関係に注意して ・比喩や反復法などの表現技 話や文章の中で使うことを通し 法や、伏線となる表現があ て、語感を磨き語彙を豊かにし る。 ている。 【観察、ストーリーマップ】

| 3 | 4 検証授業 | 日標: 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。 1 学習課題を知る 課題 この作品の「描写」は、といるができるができるができる。 2 【仮説検証シートを活用した活動】・マイテーマの決定・仮説検証シートを活用した活動】・仮説を立てる。・仮説を立てる。 | 0 | | ・初発の感想をもとに設定した4つのマイテーを示し、生徒が自分で取り組みやすい課題を1つ選べるようにすることができるようにながったができるようにでする。・仮説検証シートのグッルを配付することで、学習の進め方をつかるようにする。・描写によるの意見と比較のあるように追し、他者の意見と比較のあるように追し、他者の意見と比較のように追し、他者の意見と比較のように追し、他者の意見と比較のように追し、他者の意見ととを確認する。思①:場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。【仮説検証シート】 |
|---|--------|--|---|---|---|
| | 5 検証授業 | ・エキスパート活動 ※同じテーマを選んだ人同士 の交流 ・話し合って分かったことを、 仮説検証シートの「友達の考え (エキスパート活動)」の欄に記入する。 | 0 | | ・根拠となる描写にふれながら話し合うことで、それぞれが着目した構成や表現について、新たな着眼点をもち、より深く考えることができるようにする。 思②:構成や展開、表現の効果がつかめていない生徒には、全文シートやストーリーマップを見返し、話し手が変化する場面や、何度も出てくる言葉に着目するよう支援する。 【仮説検証シート】 |
| | 6 | ・ジグソー活動 ※異なるテーマを選んだ人同士の交流 ・話し合って分かったことを、仮説検証シートの「友達の考え (エキスパート活動)」の欄に記入する。 | | 0 | ・構成や表現について新たな視点を得ることで、自分の考えを深めたり広げたりできるようにする。 ・それぞれのマイテーマの共通点や相違点に着目し、それぞれがどのような効果を生み出しているのかを比較しながら考えるよう助言する。 態①:積極的に対話に臨めていない生徒には仮説検証シートをもとに、友達の考えとの共通点や相違点を見付けるよう支援する。 |
| | 7 | ・エキスパート活動 ※同じテーマを選んだ人同士の 交流 ・個人で「まとめ」の欄にまと めを記入する。 ・個を記入する。 ・のを記入する。 ・のを記入する。 ・ののでは、大きのでは、大きのでは、では、大きのでは、では、大きのでは、大きのでは、大きのでは、い出をでは、い出をでは、い出をでは、いいに、いいに、いいに、いいに、いいに、いいに、いいに、いいに、いいに、いい | 0 | | ・ジグソー活動で得たとでは、 一活動で得たとすることがあることがある。 ・個人で考えをはいる。 ・個人で考えをまとめる。 ・個人であるよう指示マイスを表したがある。 ・個人でののいる。 ・関連している。 ・関連したは、の考えがもしたである。 ・関連したは、の考えがものにする。 ・関連したののでは、ので結めに表よりにする。 にする。 にする。 思②:場所変化ないる。 世別のでを基に、のの展開や登場人物のいいである。 には、ののののでは、してを整理できるとのでは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、 |

| 4 | 8 | 目標 積極的に文章の構成や展開、表現の効果にしとめる。 1 学習課題 「写」できる。 2 一次でする。 とが考えをからない。 でですがあまれる。 でですがあまれる。 でですがあれる。 でですがあれる。 でですがあれる。 では、 でですが、 できない。 では、 | C | ・スライド構成シートを配付し、自分の考えを伝えることができる。ことができるようには、できるようにする。 まっていかるようにすがある。 では、 |
|---|--------|--|---|---|
| | 9 検証授業 | 3 グステント では、 | © | 間を 想 で見 表確め ・ はなどを ・ はなどを ・ いっこにになるが、のしてこす、メスをもいて、のよての方がのが、イ 展別にて、、、とる他ンをる、どをのよった。のはたら的効であれる。のいれるが、イ 展別にて、、、とる他ンをる、どをでがよる1他にに果って、い、例果のして、メえきはたら的効でで、よどでがイえず、とる他ンをる、どをでがみるでで、とのもでががらにによっなれで、、、、とる他ンをものが、のして、カーで、カーで、カーで、カーで、カーで、カーで、カーで、カーで、カーで、カーで |